



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>



学校教育目標 ④いさつから輪を広げる子 ⑤ふうして学び続ける子 ⑥たしもあなたも命を大切にする子

りんきおうへん くふう まな つづ こ
臨機応変 工夫して学び続ける子

こう ちょう すずき まさのり
校長 鈴木 正憲

平成30年が始まりました。新年あけましておめでとうございます。

子どもたちにとってこの冬休みは、充実したものとなっていたでしょうか。暮れから正月にかけて家族の行事や大掃除、片付けの手伝いなど、家族の一員としての自覚や責任を感じたり、親類や家族以外の人と接することで、場や時に応じた挨拶やマナーについて学んだりすることができたと思います。いつもと少し違った生活の中で貴重な経験をする事ができたのではないのでしょうか。また、昔から伝わる遊びを一緒に楽しむことで、それぞれの国の伝統的な文化に触れたり、家族の愛情を感じたりすることもできたと思います。



松陽高校書道部生徒による授業支援

これまで朝会で「臨機応変」について何度か話題にしてみました。自治会・PTAがあくわっ子に寄贈して下さったチャレンジ小学国語辞典によると臨機応変の意味は、「その場のようすや状況の変化に合わせて、よいやり方をする事」と書かれています。つまり、状況がかわったことに気付いて、素早くよりよい方法にしていくことが大切ということです。「前はこれでよかったから」とか、「私は私のやり方があるので変えません」などと言っているのは、成長しないということです。また、避難訓練や防災訓練の際も必ず「その場に合った身の安全」の話をしてきました。いつ、どこで、どんな状況で起こるか分からない災害に対応できる「臨機応変」が自分の命を守るからです。しかし、子どもたちが「よいやり方」を初めから知っている訳もなく、日々の経験の積み重ねと学校や家庭の教育によって個々の引き出しが増やされ、よい方法を選べる準備ができるのです。本校の教育目標の一つに「工夫して学び続ける子」があります。工夫とは、「うまいやり方をあれこれと考えること」です。また、工夫を凝らすとは、「あれこれ考えて、よりうまいやり方を取り入れる」ということです。

本校は、平成27年度に保健管理部門、平成28年度に保健教育部門で横浜市学校保健優良学校に選ばれておりました。今年度は、これまでの学校保健活動全般が認められ、横浜市学校保健優良秀学校として、平成30年1月18日(木)に開催される第61回横浜市学校保健大会において表彰されることになりました。横浜市立全小学校の中で唯一の受賞となります。

今年も教職員が一つとなり、全力で子どもたちにしっかり教え、しっかり引き出す指導を行っています。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。